

県立芸術劇場チケット管理システム仕様書

公益財団法人 宮崎県立芸術劇場

～ 目 次 ～

1 委託対象業務	- - - - -	2
2 システム導入の目的	- - - - -	2
(1) 背景と目的		
(2) システム導入の方針		
3 履行場所等	- - - - -	2
(1) 履行場所		
(2) 作業スケジュール		
(3) 納品物		
4 システムの概要	- - - - -	3
(1) システム機能		
(2) システム方式等		
5 システム利用環境	- - - - -	4
6 システム運用	- - - - -	4
(1) 運用時間		
(2) バックアップシステム		
(3) 保守・問合せサービス		
7 作業の体制及び方法	- - - - -	5
(1) 作業体制		
(2) 導入方法		

別紙 1) チケット管理システム機能リスト

1 委託対象業務

業務名：県立芸術劇場チケット管理システム構築運用業務

履行期間：システム納入期限 平成25年12月31日（火）まで

契約期間 平成26年1月1日から平成30年12月31日まで

業務内容：公益財団法人宮崎県立芸術劇場（以下「県立芸術劇場」という。）が作成した「県立劇芸術場チケット管理システム仕様書」に基づき本劇場と同規模以上の施設で導入運用実績のあるシステムの導入を行う。導入にあたっては職員への操作研修についても実施する。また、システム導入後の運用では、定期的なメンテナンス、不具合の解消、利用実績の把握等を行う。データ移行は友の会約1,000名分を行う。

2 システム導入の目的

(1) 背景と目的

チケット管理システムにおいて劇場内での窓口販売、プレイガイドでの販売に加え、購買層の新規開拓につなげるためインターネットを利用したチケット販売にも対応したシステムの導入を行う。また、インターネットを利用したオンラインASPシステムとする。

(2) システム導入の方針

システムは同規模程度の施設で稼働実績のあるパッケージソフトを基本として導入を行うものとする（導入時において事業者で最新バージョンのもの）。また、インターネットを利用したオンラインASPシステムとする。

さらに、既存の業務系ネットワーク上で稼働するシステムとし、職員がそれぞれで許可された機能のみ利用できるシステムとする。

利用する職員は専門的なITの知識はなく、Word、Excelの基本的な操作ができる程度であることから、操作が容易であり、直感的に理解できるようなシステムとすること。

また、個人情報等、機密性の高いデータを扱っていることを認識し、データの漏洩、改ざん等を防ぎ、個人情報の保護を的確に行うこと。

3 履行場所等

(1) 履行場所

ア メディキット県民文化センター（県立芸術劇場（以下「劇場」という。））内システムの導入を行う。

イ サーバの設置場所

・請負事業者が定める場所

（安全で非常時等の対策が図られており、厳重に管理されている場所。）

・サーバーの設置場所から劇場までは、インターネットを利用した回線とする。

(2) 作業スケジュール

- ア システム試験導入 平成 25 年 11 月下旬
ウ 操作研修会、仮運用 平成 24 年 12 月中旬
操作研修会は、2 回以上実施すること。

(3) 納品物

- ア ASPサービス 一式
イ システムネットワーク概要図 2 部
ウ 総合テスト報告書 2 部
エ システム操作説明書 システム管理者用 1 部
一般職員用 20 部

上記イからエまでを作成した電子ファイルを保存した CD-ROM を 1 部納品すること。

4 システムの概要

(1) システム機能

ア システム機能一覧

本システムは、次の機能から構成される。

チケット予約・購入、発券、会員・顧客管理

イ システムの機能要件

本件委託業務に係る機能要件、必須出力帳票については、別紙 1「チケット管理システム機能リスト」のとおり。

ウ その他システム要件

(ア) 安全性

個人情報の漏えい、データの改ざん・破壊防止などに対するセキュリティ管理に加え、ハッカーやクラッカー等に対するセキュリティ管理が図られていること。

(イ) 可用性（安定稼働性）

各々の機能が業務上支障ない範囲の処理時間、応答時間となるように考慮し、システムが継続して安定に動くこと。

(ウ) 信頼性

- ・ブラウザのバージョンアップなどの利用環境の変化に柔軟に対応できること。
- ・組織変更時のマスター変更などに柔軟に対応できるようにすること。

(エ) 拡張性

法改正によるプログラムの変更などに柔軟に対応可能なシステム構成とすること。

(2) システム方式等

ア 全般

- (ア) ASPサービスは、不特定多数の利用者がインターネット上でチケット購入をすることができるシステムとすること。
- (イ) 国際音楽祭入場者数は、総計で約13,000名(H23年実績)、約14,000名(H24年実績)、約15,000名(H25年実績)となっている。国際音楽祭は先行電話予約(10回線)で同時に複数の音楽祭公演チケットを販売するためその業務ピーク時においても処理能力に低下が生じないシステムとする。
- (ウ) ライセンスや職員パソコンの追加、変更時の運用コストの低減を考慮するとともにコンピュータの専門的な知識のない一般職員に配慮した複雑なパソコン操作を要しない簡明なシステムとすること。
- (エ) 操作には、職員の個人認証(ユーザーIDとパスワード)を必要とし、職員ごとに操作権限を設定し、個人情報の取扱に配慮すること。

イ 職員パソコン及びプリンター

- (ア) 県立芸術劇場に設置している職員パソコン及びプリンターを活用しうるシステムとすること。
- (イ) 職員パソコンは、通常業務で用いられているものである。
- (ウ) 職員パソコン及びプリンターは、劇場ネットワークを利用する。

ウ ネットワーク

職員パソコン及びプリンターは劇場内のLANに接続されており、当該LAN経由でインターネットに接続されているシステムを利用する。

5 システム利用環境

一般利用者：一般的なパソコン、携帯電話、スマートフォン

職員利用者：システムを使用する職員パソコン 20台

Windows Vista	メモリ(RAM)2.0G
Windows XP Pro	メモリ(RAM)2.0G
Windows 7 Pro	メモリ(RAM)4.0G
Windows 8 Pro	メモリ(RAM)4.0G

6 システム運用

(1) 運用時間

24時間、365日稼働とする。

(2) バックアップシステム

通常業務に支障のない適切なタイミングでバックアップを行い、障害やトラブル発生後も業務に支障がでないシステムであること。

(3) 保守・問合せサービス

普段の操作方法で不明な場合や障害発生時にはすぐに連絡を取れる体制があること。

また、ヘルプデスク等が設置されており、システム担当者が対応する又はシステムメンテナンスが出来る体制であること。

7 作業の体制および方法

(1) 作業体制

受注者は、本作業を履行できる体制を設けると共に、作業に先立ち以下の事項を記載した従事者リストを提出し、担当職員の上承を得ること。なお、原則として体制の変更は認めず、やむを得ず変更する場合は事前に担当者の上承を得ること。

ア 受注者側の体制

イ 受注者側の責任者

ウ 連絡体制（受注者側の対応窓口）

(2) 導入方法

ア 受注者は、導入に先立ち作業スケジュールを書面で提出し、担当職員の上承を得ること。

イ やむを得ず作業スケジュール等を変更する場合は、事前に協議すること。